

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境について の学習	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てます。	1	エコプランターを利用して、草花の栽培をする。	1年各担任	児童	1年生は卵を原材料とした「エコプランター」を利用して、アサガオやパンジー、ビオラを栽培した。支柱は、学校運営協議会委員に依頼して、茅ヶ崎市園芸協会から頂戴した。畑でサツマイモやダイコンなどを栽培した。1年生のあるクラスで、香川の森の落ち葉を利用して腐葉土を作った。 2年生はビオラ・パンジーを栽培した。3年生以降の学年は、理科の学習として栽培活動をした。3年生はヒマワリやホウセンカ、4年生はツルレイシ、5年生はジャガイモを畑に植え、栽培と観察を行った。 3年生は、学区探検をし、学区や自分が住む地域の自然の様子を知った。	【取組の評価】■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 各教科の学習活動と関連させながら、活動を進めることができたため。また、学校運営協議会と連携して、活動を実施できたため。 【今後の課題】 単に、植物を育てるだけでなく、自然を大切にすることを意識させていくことが必要である。学年問わず、学校周辺の自然環境に対する理解をより深められるような機会が必要である。 【次年度への引継ぎ事項】 カリキュラム上で、どの教科の学習がどのように環境とリンクしているのかを示していけるとよい。
		2	学年園・個人の鉢で草花を育て、その生長の様子を観察する。	1・2年各担任	児童		
		3	学区探検をし、学区や自分が住む地域の自然の様子を知る。	3年各担任	児童		
		4	理科や家庭科の学習を通して、環境保全を意識した生活の仕方を学ぶ。	5・6年各担任	児童		
電気、水、物を大切に使う活動	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	下水処理場の見学を通して、水について学ぶ。	4年各担任	児童	使われた水がきれいにされて海に流されていることを学んだ。水の大切さや節水について学んだ。 昨年度に引き続き、教職員に向けて、裏紙ボックスを設置し、紙の再利用を促進することができた。	【取組の評価】□達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 浄水場見学ができなかったため、机上での学習だけにとどまった。実感を持って理解するためには、見学が必要であった。 【今後の課題】 4年生の学習活動をきっかけにして、「どうして節水していかなくてはいけないのか」を全校で考えていく必要がある。 【次年度への引継ぎ事項】 節水や節電などについて、そのわけを子どもに伝え、実行していく。
		2	節水・下水処理場を見学する。	4年各担任	児童 教職員		
		3	節電・教室の電気を天候に合わせて使えるようにする。	全学年	児童 教職員		
		4	省資源・全児童に自分の持ち物を大切にしよう呼びかける。	全学年	児童		
捨てるごみを減らす活動	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	環境事業センターや堤十二天最終処分場、寒川リサイクルセンターなどの見学を通して、ごみについて学習する。	4年各担任	児童	1年生のあるクラスで、シュレッダーを再利用して、紙粘土を作ったり、ミカンの皮を煮て、オレンジ洗剤を作ったりした。 環境事業センターや堤十二天最終処分場の見学、パッカー車が学校に来て探究する学習活動を通して、ごみの衛生的な処理や資源の有効利用について学んだ。ごみを削減するためにできることを考え、iPadを活用して調べたことをまとめ、新聞を作成した。活動に取り組むことで、ごみの分別やリサイクルを普段の生活に活かすことができた。	【取組の評価】□達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 ごみの分別や資源のリサイクルを意識させることができた。 【今後の課題】 ごみの分別、資源物の回収に対する意識付けが必要である。 【次年度への引継ぎ事項】 各学年の取り組みをきっかけにして縦割り学習をして、共有することで、互いの学びが深まっていくようなカリキュラムを創造する。
		2	学校生活を通して、リサイクル・ゴミの分別について学ぶ。	全学年	児童 教職員		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

エコプランター



腐葉土



シュレッダー紙粘土



●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

松永 忠弘

【今後の方向性について】

水やごみについては、主に4年生の社会科で学習内容だが、今後は、SDGsとも関連させながら、学校全体に広めていく機会を設けていきたい。

環境教育については、学校の教育活動だけでは限界がある。行政や地域、保護者と連携しながら進めていくことが重要である。学校運営協議会と連携を図りながら、児童が自分事として捉えられるような取り組みを推進していきたい。